

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] コロナ禍における当院の緊急カテーテルの現状

[研究責任者] 医療技術局 臨床工学室 中谷 友樹

[研究の背景]

コロナウィルスの蔓延は日々の診療に多大な影響を及ぼしており、心臓カテーテル業務についても例外ではありません。「急性心筋梗塞(ST elevation myocardial infarction : STEMI)に対する診療ガイドライン」では患者様が病院に到着してから冠動脈血流の再開までの時間(Door to balloon time : DBT)を 90 分以内にすることを推奨しています。しかしながら、コロナ禍においては感染制御も重要であり、感染拡大防止と患者容態のバランスを取りながら治療にあたることが求められています。当院においては 2020/10/27 より心臓カテーテル前にコロナウィルス抗原検査を全例施行しており、DBT は延長していることが予想されますが、明確なデータはありません。今回の検討を通じてコロナ禍における緊急カテーテルの現状を把握することは、コロナ診療体制の継続・改善に寄与するものであると考えます。

[研究の目的]

コロナウィルス蔓延禍における当院の緊急カテーテルの現状について調査する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2019 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 7 月 31 日までに岡崎市民病院で急性心筋梗塞に対して経皮的冠動脈インターベンション (Percutaneous coronary intervention ; PCI) を施行した方。

●研究期間：西暦 2022 年 10 月 10 日～2022 年 10 月 22 日

●利用する検体、カルテ情報

- ①年齢、性別、身長、体重、既往歴(主に心疾患の危険因子にあたるもの)
- ②血液所見 (既往歴を調査するための所見)
- ③臨床検査所見(心電図、心臓エコー、心筋シンチグラフィ等)
- ④画像診断結果(冠動脈造影、経皮的冠動脈インターベンション、ならびに機能性虚血評価の値)
- ⑤治療経過(使用薬剤、医療機器、集中治療センター (Intensive Care Unit : ICU))

滞在日数など)

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 臨床工学室 中谷 友樹

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913